

[第652回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和4年11月17日(木) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 大阪放送 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
たつみ 都志 鎌田 雅子
上林 寛和 徳永 潔

放送事業者側出席者の氏名

吉田 禎宏 赤松 加枝子
宇田川 秀樹

4. 議題

1) 番組審議 『アシタノアカリ』

2) その他

5. 議 事 の 概 要

議題1) 『アシタノアカリ』について、番組の企画意図と内容を説明し、番組を聴取した後意見を聞いた。

ラジオ大阪「アシタノアカリ」は、様々なジャンルで活躍するゲストをお招きし、今日の活躍を支える原動力となっている生き方、考え方に迫る番組。成功と挫折、賞賛と批難の人生を振り返りながら、「アシタ」からをより良く生きるための「アカリ（＝ヒント）」を見つけだしていく番組です。今回ご審議いただく内容は2022年7月30日放送で、ゲストは気象予報士の天達武史さんです。

<各委員のご意見>

◆アシタノアカリという番組タイトルや冒頭の音楽の厳かな雰囲気、ゲストの成功と挫折、賞賛と非難の人生を振り返るという番組説明から堅い話を想像していたが、天達さんのキャラクターもあり、終始明るい雰囲気で番組が進行していった。松本さんと天達さんのトークの息もあっており、ほのぼのとした雰囲気はよかったので、冒頭の重い雰囲気とのギャップを無くした方が良かったと思った。

◆天達さんがとてもソフトな優しい方で活舌も良く、聞きやすかったが、インタビューがワンパターンなせいか、もう少し深掘りして欲しい所が沢山あった。そのせいか、番組全体の印象が薄い。ある程度その道を極めた人には必ず挫折や成功の経験があると思うので、もっと深く突っ込むと、聴取者とのシンパシーが生まれ、印象に残る番組になると思った。

◆天達さんの様々な面を引き出していたと思う。天気少年では無かった天達さんが、アルバイト先で必要に迫られて天気を見ていた、というご経験から気象予報士の道を目指すというエピソードの意外感が良かった。近年の気象変動から地域に根差した予報士が必要だと学んだ。

◆番組のコンセプトから、ゲストによって番組内容が変わるとは思うが、

今回は気象変動により過ぎたかもしれない。最後の「雨が降らなければ虹は出ない」という言葉は、まさしくこの番組のコンセプトにピッタリだった。

◆番組自体はテンポも良いし、内容もソツが無く、ゲストが伝えたい話は十分にしゃべっていたと思うが、インタビューの答えが出来上がっている感じがするので、意外性のある話題が1つ2つ欲しかった。最後の「空を見ましょう」というのはいい言葉だと思った。もっとどういう風に空を見たらいいか、など話を広げて欲しかった。

◆番組の全体的な総論として、しっとりした雰囲気でも内容もしっかりしていて申し分なかった。

以上